

Neu-Tral 主催 特別講演 in 福岡

臨床観 2011

～治療に繋げる“気づき”と“思考”～

近年、セラピストに求められる治療対応ニーズも多様化し、患者さんが抱える様々な問題（障害）を解決するためには、セラピスト自身の“**気づき**”そして、創造的な“**思考**”を含めた関わりが不可欠となってきています。本講演では、現在、福岡を拠点として幅広く活躍され、創造性溢れる6名のセラピストを講師陣にお迎えし、“今（いま）の臨床観”を通して私たちに求められる関わりについてお話しして頂きます。明日からの臨床に繋がる沢山のヒントが得られることと思います。多くの皆様方のご参加をお待ちしております。



日時 平成23年 7月 9日(土)・10日(日)

会場 麻生リハビリテーション専門学校

(福岡市博多区東比恵 3-2-1)

・「de omnibus dubitandum ～疑うことから生まれる気づきと思考～」

講師：古田 幸一 先生 (福岡リハビリテーション専門学校 専任教員、理学療法士)

・「触れる・感じる・知る・考える・確かめる ～運動器疾患に対する治療の着眼点～」

講師：大川 尊規 先生 (南川整形外科病院 リハビリテーション科 主任、作業療法士)

・「理学療法介入から目標到達までの道のり ～脳血管障害片麻痺者への治療実践を通して～」

講師：坂口 重樹 先生 (誠愛リハビリテーション病院 リハビリテーション部 係長、理学療法士)

・「実習生指導を通して学んだこと ～何に気づいてもらうべきか？何をどう考えてもらうべきか？～」

講師：橋詰 裕次 先生 (黒田整形外科医院 リハビリテーション科 科長、理学療法士)

・「検査 治療：結果の統合 ～寄与率の判定～」

講師：多々良 大輔 先生 (諸岡整形外科病院 リハビリテーション科 科長、理学療法士)

・「であい(中枢神経障害患者の運動療法 ～姿勢制御の捉え方～)」

講師：松崎 哲治 先生 (麻生リハビリテーション専門学校 専任教員、理学療法士)

対象：理学療法士・作業療法士

参加費：単日参加(9日：～、10日：～のいずれか) **6,000円**、両日参加 **10,000円**

本研修会の参加費の一部を“東北地方太平洋沖地震の義援金”として寄付させていただきます。

定員：120名(定員になり次第締め切らせていただきます)

申込期間：平成23年4月11日(月)～6月25日(土)

申込方法：<https://ssl.form-mailer.jp/fms/8aa34781142529> にアクセスし、記載要項に従って下さい。

詳細については Neu-Tral 活動ブログ -FREE MOTION- (<http://ameblo.jp/neu-tral/>) を御覧下さい。

その他：研修会会場には駐車場がありません。昼食は各自でご準備願います。



お問い合わせ：山鹿温泉リハビリテーション病院 総合リハビリテーション部 (担当：佐藤、西)

〒861-0514 熊本県山鹿市新町1204 Tel:0968-43-4151 mail: neutral_fyk_workshop@yahoo.co.jp